

## 天然記念物 植物④

～舞鶴公園のホルトノキ～

### ■舞鶴公園のホルトノキ

舞鶴公園の本丸最上段、唐津城天守閣のすぐ近くに生育するホルトノキは、舞鶴公園にある常緑樹の中でも代表的なものである。

樹齢300年、根周り5.8m、幹は地上1mのところから四つに分かれ、南北23m、東西20mにわたって葉を繁らせている。

樹高は20mに達し、樹勢も盛んで佐賀県下はもちろん、九州における代表的な巨木である。

ホルトノキはホルトノキ科の常緑高木で、モガス、ズクノキとも呼ばれ、暖地に生え、緑葉の中に紅葉した古い葉をまじえる性質がある。

葉は葉柄があり互生し、一見ヤマモモに似ている。葉の形は長隋円形で両端がとがり、緑に浅い鋸歯がある。7～8月ごろに1cmほどの小さい白い花をつける。花は落葉した前年の枝につき、果実は隋円形で長さ約1.5cm、初めは緑色ですが、冬になって熟すと黒藍色にかわる。

ホルトノキはポルトガルの木が変化したもので、昔ホルトノキの実とオリーブと混合してホルトノキと呼ぶようになった。

本州（千葉県以西）、四国、九州、沖縄に分布し、佐賀県では海岸地方に多く、サンゴジュ、ハマビワ、ヤマモモ等の常緑樹にまじって繁茂している。

根皮、枝葉煎汁をねずみ色の染料として利用する。

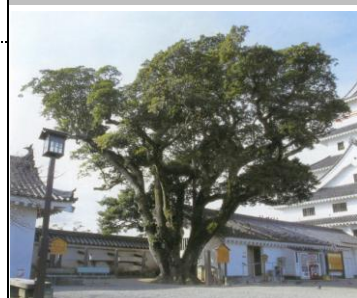
指定：昭和48年11月24日

所在：唐津市東城内（舞鶴公園）（唐津駅より徒歩20分）

分野 自然

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



舞鶴公園のホルトノキ

（『唐津市の文化財』より）

◎引用・参考文献（出典）

◆『唐津市の文化財』  
唐津市教育委員会

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ  
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：  
[http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts\\_lib/index.html](http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html)